



令和4年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

# 北心だより

令和5年3月16日 NO.14



合言葉「チャレンジ」

学校教育目標

心豊かでたくましく 夢に向かって  
輝き続ける北北っ子

## 充実した1年間 自己肯定感が高まった子供たち

校長 野澤 直矢



桜のつぼみも膨らみ始め、校庭にも春の兆しが見られるようになってきました。

さて、本日、令和4年度の修了式を行いました。1年間を振り返ってみますと、このコロナ禍の中でしたが、それぞれ個々の発達段階に応じて、主体的に活動する姿が多く見られ、成長を強く感じました。私は、この2年間、「合言葉はチャレンジ。失敗を恐れることなく、いろいろな活動にチャレンジしよう。」「夢をもち、その夢の実現に向けて、今できることは何か考え、取り組んでいこう。」「気持ちのこもった元気のよい挨拶をしよう。」そして、「自分たちの学校は自分たちでよくしていこう。自ら考えて行動し、主体的に活動する子を目指していこう。」と、いろいろな機会ですべてに伝えてきました。子供たちは、学習、生活する中で、目標に向かって自分なりに一生懸命に取り組みました。特に、本校児童の課題であった自己肯定感の低さについては、約8割の子供が「前向きに取り組む(チャレンジ)ことができるようになったうれしい結果が表れています。さらに、学校をよりよくするために、挨拶運動を広めることができ、毎朝、みその委員会、6年生を中心とした挨拶運動が始まり、「挨拶ロード」が出来上がりました。また、PTAの役員を中心として挨拶運動も始まり、この2年間で挨拶がとても向上しました。スローガンも「北北っ子 あいさつ 浜松NO.1」と「浜北」から「浜松」に変更され、子供たちの挨拶をよくしていこうとする強い思いが見られ、主体的な表れが随所で見られるようになりました。また、来客者からは、「昨年度と比べて、子供たちが落ち着いていて、授業への取り組み方がよくなっていますね。玄関に入った瞬間に違いを感じます。」とよく言われました。子供たちの自己肯定感が高まり、夢に向かってチャレンジし、大きく成長した1年間でした。

そして、明日は、年間を通して最も大切な行事である「卒業式」です。小学校6年間のすべての学習を終え、北浜北小を巣立ち、中学校へと進む121名の卒業生に心から「おめでとう」の拍手を送りたいと思います。卒業式は、小学校生活「最後の授業」です。保護者の皆様や御来賓の方々をお招きし、6年間の成長した姿をご覧ください。態度や返事や歌声、そして一つ一つの動作に表れます。卒業生が残してくれた輝かしい伝統に感謝するとともに、充実した中学校生活が過ごせるように祝福したいと思います。在校生は、卒業生への感謝とその伝統をしっかり受け継ぎ、さらに発展させていく決意の場になるように期待しています。

本年度も、保護者の皆様や地域の方々の御支援、御協力をいただきながら、令和4年度の教育活動を終了します。本校の教育活動は、保護者や地域の皆様によって支えられています。保護者の方による朝の登校指導や地域の交通ボランティアの方々による登下校指導。また、自主的なボランティア活動として、PTA活動、読み聞かせ活動、クラブ活動講師等の活動において、多くの方々の温かい御支援、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も、子供たちが、何事にもチャレンジ精神をもって主体的に取り組み、自分の夢に向かってキャリアを積み重ねていけるように、全教職員一丸となって教育活動を推し進めていきたいと考えます。今後も引き続き、変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、私は、今年度末にて38年間の教員生活を終え定年退職となり、退任いたします。北浜北小学校では、2年間という短い期間でありましたが、日々、子供たちの成長を見届けることができ、納得のいく充実した学校運営を展開することができました。御協力いただいたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後の北浜北小学校の益々の御発展を祈願しまして、私から最後の挨拶とさせていただきます。